

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	商工観光部
-------	-------

【平成28年度重点目標】

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	東信州広域連携による次世代産業創出支援  意欲ある中小企業に対する販路開拓等支援  関係機関との連携等による実態把握及び支援	関係11自治体等による推進体制の確立（協議会設立6月） ・ARECを中心とする推進母体[東信州]次世代イノベーション（仮称）による次世代産業創出に向けた事業推進・戦略策定会議の開催（4回） ・リーガによる広域産業分析・人材育成のための研修、講習会（通年） 3商工団体連携による共同出展の実施（2回以上）、連携イベント（1回）、販路拡大補助金による支援（10件以上）、農工商連携、融資実行300件ものづくり企業相談体制整備事業による専門家派遣企業数（10社） 地域経済雇用合同連絡会議の開催（4回）、経営実態調査の実施（2回）、メルマガジンの発行（月2回以上）、商工業振興プラン策定（3月）	関係10市町村による東信州産業振興協議会設立（7/5） ・東信州次世代産業振興協議会開催（7/5） ・リーガスによる産業分析開始（8月）、技術展示会（9/6）、戦略分野の業界動向セミナー（1回）  販路拡大補助金による支援10件、農工商連携10/15イベント開催予定、制度融資136件 専門家追加登録4人・専門化派遣件数0件、 地域経済雇用合同連絡会議2回開催、経営実態調査1回実施 メールマガジンの発行月2回、商工業振興プラン業者選定後11月にプロポーザル実施予定
2	創業プラットフォームによる創業支援  地域の優位性を活かした企業誘致・留置の推進	AREC・ハラボ・商工会議所・市の連携による相談件数200件（通年）、首都圏等からの起業家誘致（通年）、女性のスキルアップ研修後の就業数10人（通年） 製造業の事業所訪問を200社以上（通年）、県の東京、名古屋、大阪事務所への訪問による情報交換実施（5回）、定住自立圏構成市町村合同の企業立地フェア等への参加（2回）、テレワーク導入支援検討（通年）	創業プラットフォームによる相談件数122件、首都圏からのIT企業サテライトオフィス誘致1件、女性のスキルアップ後の就業者数3人  事業所訪問112社、県東京事務所との情報交換2回、定住自立圏構成市町村での展示会合同出展1回
3	民間人材派遣会社との連携によるUIJターンと若年定住就職支援事業の推進 若年者の就職支援の推進  教育委員会との連携によるものづくり人材育成  求職者・勤労者のスキルアップと企業の人材育成等支援	UIJターン希望者の地域企業就職相談100人・お試し就業10人 ・就職困難な若者等の就職支援（正規雇用20人） 就職面接会等5回、学生就職支援フォーラム100人、首都圏等大学等への企業情報誌配布650校、インターシップ150人、事業所見学会350人、就職困難者就業支援セミナー4回、就職困難者キャリアによる就職等25人 上田市ものづくり・キャリア教育推進検討委員会の開催、製造業職場体験に関するアンケートの実施及び調査（1回）、親子会社見学会、ものづくり体験教室の開催（1回）、上田地域高等職業訓練センターとの連携（中学生のものづくり体験受入支援30人） 再就職支援バリエーション（24回）、仕事の探し方講座（12回）、定年退職前後セミナー（5回） 求職・労働相談の実施（130件）、事業所訪問数（420件）、労働福祉施設利用の促進、生活資金・住宅建設資金融資貸付（130件）	UIJターン希望者22人の就職相談を実施、内1人就職内定 就職困難な若者9人OFF-JT研修実施 就職面接会2回（7月・8月）開催 インターシップ135人、事業所見学会296人 就職困難者就業支援セミナー2回開催、就職困難者59人をキャリア紹介し、内就職等8人 教育委員会と推進検討委員会のあり方を検討、製造業職場体験アンケート調査（1回） 親子会社見学会（7社で123人参加）、ものづくり体験教室（1回） 上田地域高等職業訓練センターとの連携による中学生のものづくり体験20人  再就職支援バリエーション12回、仕事の探し方講座6回、定年退職前後セミナー2回 求職・労働相談87件、事業所訪問212件、 労働福祉施設利用 勤福センターとサンワーク利用人数 24,046人（前年比1.5%増）
4	真田氏関連自治体との連携  観光広域連携事業の取組み  インバウンドへの取組み  観光誘客宣伝の強化推進  上田観光コンベンション協会組織体制の強化等	真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」の開催（H28.4月）、真田関連自治体スタグラリー実施、長野市との連携（通年） 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議の集中プロモーション事業（スタグラリー通年）、広域連合や定住自立圏との共同観光PR（高速道路やMROなど）、上田・松本間の観光直行バス運行（通年）、観光連携組織活動（通年） イベント推進組織活動、ホームページ運営、パンフレット設置・配布（通年） 外国エージェント、海外での観光PR実施検討（通年） 信州上田おもてなし武将隊のPR活動、首都圏、関西方面の観光PR、上田城大阪城郭提携記念事業、首都圏等バリエーション（通年） コンベンション協会法人の設立（H28年度中）	真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」の開催〔平成28年4月23日（土）〕 真田関連自治体スタグラリー実施（真田街道推進機構等）、長野市との連携（上田・松代スタグラリー）を通年実施。 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議〔幹事会、総会・サミット、共同研究会〕の実施（集中プロモーションの検討等）。 広域連合共同キャンペーン実施（金沢駅・8月11日）、定住自立圏共同キャンペーン（東部湯の丸SA・7月23日、上里SA・8月27日） 上田松本直行バス通年運行（土日祝日、8月平日）、観光連携組織（上小温泉協会、信州カントリー連携協議会、忍者協議会等）通年活動実施。 イベント推進組織活動実施の検討（イベント・ミテイング）、ホームページ通年運営、パンフレット設置配布（シガホール5ヶ所） 外国エージェント、海外での観光PRの平成28年度内実施に向けた検討（台湾又はタイ等）。 信州上田おもてなし武将隊のPR活動、上田城177回・首都圏、関西方面等7回。 上田城大阪城郭提携記念事業の10月実施に向けた検討。バリエーション〔上田 池袋・立川高速バス、大阪市営バス〕通年実施。 上田観光コンベンション協会の法人化に向けた検討。
5	商工団体及び商店街等の連携による真田十勇士がテンプレートへの誘客  池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進  魅力ある商店街づくり支援	施設へのアプローチ・展示内容・情報発信の随時見直し及び充実、定期的なイベント開催（通年）（年間来場者数43,000人） 企画展、写真展4回開催、図録版の改訂、イベント開催（1回）、常設展示室のギャラリーのLED化（年間来館者数48,000人） 緊急空き店舗対策（賃貸料補助）等による空き店舗の解消36 31店舗 ・商店街の主體的取組の広報掲載や報道機関への情報提供（随時） （歩行者通行量調査22,800人以上）	展示内容の充実 3回、ツイッターによる定期的な情報発信 ツイート161、イベント実施支援 43回 集客数3,570人、来場者数（9月末）27,915人 春の企画展 3/26～5/29 入館者数 15,029人、夏の企画展 6/18～8/28 入館者数 12,163人、「映画 真田十勇士展」9/3～10/2 入館者数 5,615人、 図録改訂作業中 進捗率70%、LED化40個 6/15実施済み テナント出店支援事業 補助金交付決定2件 商店街のイベント等の広報掲載2回

評価基準 [ ]：目標を上回る進捗 [ ]：目標どおり進捗 [ ]：未進捗の部分あり [ × ]：全て目標未進捗

市長指示事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携における次世代産業創出については、確実に前進できるよう取り組むこと。</li> <li>・上田のブランド力を活かして農・工・商業の事業に取り組むこと。</li> <li>・創業、起業、女性のスキルアップ、若者の仕事や発想力が活かされる環境づくりを支援すること。</li> <li>・インバウンドの推進は、十勇士や忍者協議会と絡めて取り組むこと。</li> <li>・魅力ある店舗への支援により空き店舗が解消できるよう取り組むこと。</li> </ul>
--------	--